

「帝京大学医学部附属病院における小児・成人移行期医療調査」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年2月26日～2022年9月30日

〔研究課題〕

帝京大学医学部附属病院における小児・成人移行期医療調査

〔研究目的〕

小児期に発症した肝疾患患者の生命予後は近年向上しており、ほとんどの症例で長期生存が可能となっています。結果として患児は成人し、小児期から成人期特有の問題に遭遇することも多い状態です。本来であれば小児診療科から成人診療科へのシームレスな移行が行われることが望ましいのですが、このような小児・成人移行期医療がどの程度行われているのか、またどのような問題点があるのかについての実証的な研究はほとんどありません。本研究では帝京大学医学部附属病院消化器内科(成人診療科)を受診している患者から、小児期に発症した肝疾患患者を抽出し、小児期や移行期の状況、予後を明らかにすることを目的とします。

〔研究意義〕

この研究により、今後帝京大学医学部附属病院その他で有効な移行期医療を推進するにあたり重要な情報が得られると考えています。

〔対象・研究方法〕

当院電子カルテシステムを用い、2000年1月1日から2021年10月31日までの保険病名登録で検索し、それぞれのカルテ内容を確認し該当症例を抽出します。検索病名は自己免疫性肝炎、原発性硬化性胆管炎、先天性胆道閉鎖症、Wilson病とします。検索条件としては「疑い」病名も含み検索を行います。当院小児科または他院小児科から紹介され、当院内科で継続フォローアップしているものを対象症例とします。また小児科から他院内科へと紹介され、定期フォローアップされていたが、その後当院に紹介された症例に関しては今回の検討では除外します。この結果抽出された症例のカルテを詳細にチェックし、小児科受診時の状況、転科の理由・状況、消化器内科移行後の状況、最終予後について後ろ向きに検討します。症例数は7例を予定しています。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

この研究によって得られた性別・生年月日・検査結果などの情報は、匿名化しお名前がわからない状態としたうえでコンピュータへ入力し、パスワードをかけてこの研究者しかアクセスできない状態として臨床研究センターで10年保管します。この研究についてモニタリング・監査を行う予定はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 田中 篤(教授)

所属: 帝京大学医学部附属病院内科

住所: 〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1

TEL: 03-3964-1211(代表) [内線 34647]